

- アイサワ工業(株)大阪支店
- 青木あすなろ建設(株)大阪本店
- あおみ建設(株)大阪支店
- (株)浅川組
- (株)浅沼組
- (株)新井組
- (株)安藤・間大阪支店
- 岩田地崎建設(株)大阪支店
- 大木建設(株)大阪支店
- (株)大林組大阪本店
- 大林道路(株)大阪支店
- (株)大本組大阪支店
- (株)奥村組西日本支社 関西支店
- 奥村組土木興業(株)
- オリエンタル白石(株)大阪支店
- 鹿島建設(株)関西支店
- 株木建設(株)大阪支店
- 北野建設(株)大阪支店
- (株)クボタ建設大阪支社
- (株)熊谷組関西支店
- (株)鴻池組
- 五洋建設(株)大阪支店
- 佐藤工業(株)大阪支店
- 清水建設(株)関西支店
- ショーボンド建設(株)近畿圏支社
- 西武建設(株)関西支店
- (株)銭高組大阪支社
- 大末建設(株)大阪本店
- 大成建設(株)関西支店
- 大成ロテック(株)関西支社
- 大鉄工業(株)
- 大日本土木(株)西日本支社
- 大豊建設(株)大阪支店
- 高松建設(株)
- (株)竹中工務店
- (株)竹中土木大阪本店
- 鉄建建設(株)大阪支店
- 東亜建設工業(株)大阪支店
- 東急建設(株)大阪支店
- 東洋建設(株)大阪支店
- 戸田建設(株)大阪支店
- 飛鳥建設(株)大阪支店
- 奈良建設(株)大阪支店
- 南海辰村建設(株)
- 西松建設(株)西日本支社
- 日特建設(株)大阪支店
- (株)NIPPO関西支店
- 日本国土開発(株)大阪支店
- (株)ノバック
- (株)長谷工コーポレーション関西
- (株)ハンシン建設
- (株)ピーエス三菱大阪支店
- (株)久本組
- 深田サルベージ建設(株)大阪支社
- (株)福田組大阪支店
- (株)藤木工務店
- (株)フジタ西日本支社 大阪支店
- (株)不動テトラ大阪支店
- (株)本間組関西支店
- 前田建設工業(株)関西支店
- 松井建設(株)大阪支店
- (株)松村組大阪本店
- 丸磯建設(株)関西支店
- 三井住友建設(株)大阪支店
- みらい建設工業(株)大阪支店
- 村本建設(株)
- 名工建設(株)大阪支店
- (株)森組
- (株)森本組大阪支店
- 矢作建設工業(株)西日本支社
- (株)吉田組
- 寄神建設(株)関西支店
- ライト工業(株)西日本支社
- りんかい日産建設(株)大阪支店
- 若築建設(株)大阪支店

editor's voice
2019.october

編集後記

今年は何号が平成から令和となり、日本中の誰もが注目するトピックでありました。「令和」がどのような時代になるのか？希望と期待が膨らむばかりです。一方で昨年の11月にはパリで大阪・関西万博開催が決定し、いま関西を未来都市に変貌させる千載一遇のチャンスを迎えているように思えます。

巻頭対談では「2025年万博による関西の未来都市化」をテーマに、コクヨ株式会社の会長で万博の誘致決定に尽力された黒田章裕氏をお招きし、ホスト役として日本建設業連合会関西支部長の松崎公氏と、万博開催の成功に向けて関西経済と建設業界の果たすべき役割と期待について大いに語って頂きました。

また、2023年度の開催に向けて多種多様な構造形式で工事が進む北大阪の大動脈、北大阪急行延伸工事や、京都府亀岡市で来春オープン予定の京都スタジアムの建設工事を取材。さらに、建設現場で働く入社4年目の若手技術者、建築男子と土木女子が現場で夢を目指し奮闘する姿の紹介や、令和施行日の5月1日に市名変更した丹波篠山市、淀川の改修や大阪港築港計画を行ったオランダ人土木技師「リネス・デ・シレーケ」の歴史を取材しました。

私たちは本誌編集を通して経済・歴史・防災・インフラ整備などの様々な情報に触れ関西の未来を見つめていきたいと思えます。


この「しびる36号」を通じて今後建設業界を目指す方々や次世代を担う若手技術者たちが建設業に対する誇りと希望を持って頂ければ幸いです。

最後に、本誌の発行に際して快く取材に応じていただいた方々、ならびに資料提供等のご協力を賜りました関係各位のご厚意に、心より御礼申し上げます。

「しびる」について、あなたのご意見、ご感想をお聞かせください。

送り先

〒540-0031
大阪市中央区北浜東1-30 大阪建設会館内
(一社)日本建設業連合会 関西支部 ご意見・ご感想係



●今号の表紙
建設中の京都スタジアム(2019年8月撮影)

JR亀岡駅前に建設中のスタジアム。サッカー・ラグビーの国際試合の開催が可能で収容数21,600人の京都スタジアムは、2020年春オープンし、多くのスポーツファンたちがここで熱い応援を繰り広げることでしょう。

2019
7/22

第60回BCS賞
関西支部3作品が受賞



HIRAKATA
T-SITE

都市再生の起点となるリビング空間

所在地 大阪府枚方市岡東町12-2
建築主 スパイラルスター・グローバル・パートナーズ特定目的会社
設計者 株式会社 竹中工務店
施工者 株式会社 竹中工務店
株式会社 前田組
竣工日 2016年2月25日



フェスティバルシティ
(中之島フェスティバルタワー(東地区)、
中之島フェスティバルタワー・ウエスト(西地区))

水都・大阪の新たなランドマーク

所在地 大阪府大阪市北区
中之島2-3-18、3-2-4
建築主 株式会社 朝日新聞社
株式会社 竹中工務店
設計者 株式会社 日建設計
施工者 株式会社 竹中工務店
竣工日 2017年3月31日



立命館大学
大阪いばらきキャンパス

公園一体型の開かれたキャンパス

所在地 大阪府茨木市岩倉町2-150
建築主 学校法人 立命館
設計者 学校法人 立命館キャンパス計画室
株式会社 山下設計
株式会社 竹中工務店
施工者 株式会社 竹中工務店
竣工日 2015年2月28日

●建設分野を学ぶ学生たちの熱きものづくりバトル!
大阪城コンクリートカヌー競技大会が開催

2019
8/24,25

大阪城の東外堀で、「大阪城コンクリートカヌー競技大会」が開催された。毎年開催されているイベントだが、大阪城で開催されるのは今回(第20回)が初めて。当競技大会は近畿高等学校土木教育研究会が主催し、近畿地方整備局や大阪府・大阪市教育委員会、土木学会関西支部などが後援。(日建連関西支部も協賛)

参加チームは建設系学科を設置する高校、大学、高専、専門学校などによる学校対抗での競技大会で、今年は21艇(19校)が参加した。学生が自ら設計しセメントの配合などで工夫を凝らしたコンクリート製のカヌーで、競技はレースの優劣やタイムを競い合うだけでなく、美しさや機能性も合わせた総合審査方式で、各校による製作プレゼンテーションも行われた。

レースでは、コンクリート製というだけあって、乗船時や競技中に「沈」してしまうカヌーが続出するというハプニングも。当日は、21艇が外堀内に設置したパイ間(約150m)を往復するレースで予選、準決勝、決勝が行われ、昨年度チャンピオンの多度津高校(香川県)の「四面楚歌号」が今年も総合優勝した。



1.外堀内で競い合う参加者たち 2.それぞれ工夫を凝らしたコンクリートカヌー 3.クレーンで吊るしてカヌーを搬入